

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学： パリ第7大学
留学先での所属学部・研究科： 文学部
留学先での在籍身分： 院生
留学期間： 2014 年 9 月～ 2015 年 6 月
神戸大学での所属学部・研究科： 人文学研究科
学年（出発時）： M1
本報告書記入日： 2015 年 12 月 11 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9 月 1 日

学年終了月日： 6 月 30 日

学期：

① 9 月 7 日～ 12 月 19 日

② 1 月 18 日～ 5 月 14 日

③ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

④ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

分野をまたいだテーマ研究をしている先生が多く、授業もあるテーマから美術作品や映画、文学を分析していく授業が多い。Atelierという、詩の朗読や演劇、歌の授業があり、現地学生に人気がある。留学生にとって履修は難しいかもしれないが、聴講するだけでも価値がある。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

FLEという外国人学生向けの授業がある。また語学学習ができるパソコン室もある。

勉学面でのサポート：

大学からは特に無いが、現地学生に質問すると快く教えてくれるし、ノートも見せてくれる。

精神面でのサポート：

留学生専用の窓口があり、事務員が対応してくれる。

住居・生活面でのサポート：

同じく留学生専用の窓口で対応してくれる。

課外活動のサポート：

留学生向けの語学の授業でパリ案内をしてくれる。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

殆どの場合大学とCROUS という団体が寮を斡旋してくれる。但し寮によって、大学からの距離も内装も異なるので、街の雰囲気と合わせて事前に調べておくべき。また寮が決まるまでは念のため自分でも部屋を探しておくのがよい。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

日本の保険会社のプランに加入した。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

国民保険には入らなかった。
銀行の住宅保険には入った。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

家賃に組み込まれていたが、WiFi環境がない。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館、日本語環境はない。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通わなかった。歯医者は保険が聞かないらしいので、渡航前に治療を済ませておくべき。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

パリでひく風邪は手強い。
トイレの衛生状況は日本と比べてよくない。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

LCLという銀行のピラミッド駅支店には日本語対応してくれるスタッフがいるので、そこで口座を作成した。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

フランス人は考えていることを（例えば嫌なことは嫌と）躊躇せずに言う。
年齢に関係なく親密になりやすい。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

パーティが行われると、各々自分の友人を連れてくるので、自ずとコミュニティーが広がっていった。それ故、大学外の人といることがほとんどだった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

翻訳のアルバイトを行っていた。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

日本人のことをよく思ってくれる人が多いが、軽犯罪（スリ、詐欺）に巻き込まれるケースも多い。最近ではテロが心配かもしれないが、正直運の問題であり、このご時世どこにいても同じであると思う。北や東の端は1人でいくのは危険な地域もある。ただ基本的には安全で、歩いていて飽きない。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していない。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO _____, 10万 _____ 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

観光雑誌は一冊あればよい。在住者のブログをチェックして情報を集めていた。
小説やエッセーを読んでおくと、実際そこに書かれた光景を目にした時、感動する。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

電子辞書、パソコン、捨てて帰って来ても良いような服。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（仏検2級 _____） _____ 点→帰国後（仏検準一級程度） _____ 点

日本にいた時にはどこか「外」のことだと思っていた出来事を身近に感じるようになっただけでなく、世界で起こっている出来事が根底では繋がっているということを改めて実感した。これまで学んできたもの、聞いてきたもの、写真で見えてきたものが、この目で見ることによって、パズルのように1つに繋がっていった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

実際被害を受けたわけではないが、シャルリー・エブド事件は衝撃的な出来事だった。冬に暖房がつかず、シャワーのお湯がでないこと。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

大変丁寧な対応をして頂き感謝致します。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

異国、異文化は、いくら本を読んで学んだとしても、結局自分とは異なるどこか遠い存在でしかありません。実際に自分の肌を通して交流することではじめて理解できるようになります。すべてが1つに繋がっていく感覚をぜひ味わって欲しいと思います。
はじめて一人で海外生活を営むには確かに難しい国かもしれませんが、交換留学プログラムを利用することで、渡航前の手続きから丁寧にサポートしてもらえるため、特に問題なく生活を営むことができます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価，5が最も高い評価，1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容，レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ，料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い，満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Littérature actuelle		3h	4	20	翻訳のない現代文学作品を2冊読み、レポートを書かなければならない
2	Atelier	Jean Vigne	3h	4	25	詩を毎回朗読させられる。聴講だったが授業後に指導してくれた。
3	Initiation écrit		3h	4	40	アカデミック・ライティングを学ぶことができる。
4	Littérature et Cinéma		2h	3	40	
5	Littérature et art		2h	3	50	
6	Grammaire de FLE		2h	2	15	
7	Atelier de FLE		2h	2	15	
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

現地学生が積極的に質問・発言するので、授業が賑やかである。
留学生に優しい先生もいれば、そうでない先生もいるが、いずれにせよはじめの授業で留学生であることをアピールし、毎授業ごとに質問し、顔と名前を覚えてもらう必要がある。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 20万円弱
 - ・住居費：（月額） 420euro ×（留学月数） 10 ヶ月 = 4200euro
 - ・食費：（月額） 300euro ×（留学月数） 10 ヶ月 = 3000euro
 - ・保険料：
 - ・その他：
- 合計： 10000euro （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

パリ第7大学には日本語学科があり、そこに所属している学生は元々日本（人）に興味があるため、友達が出来やすい。加えて日仏交流サークルがあり、活動に参加するとたくさんのフランス人に会うことができる。1,2年生が多く、若干幼い印象を受けるが、その後に行われる飲み会には院生が参加するので、話が合う学生を見つけることができる。

但し、そこにばかりいては、フランス文化を体験することはできないので、仲の良い友達ができれば、そこから外に広げていく、つまり異なる学科のフランス人と関わる機会を作ってもらうのが良い。授業で話しかけることができるなら1番良いが、授業が終わってすぐに出て行ってしまう人や、すでにグループを作っている人が多いので、なかなかそう上手く行かないので、協力が必要である。一度（大きな）パーティーに参加すればそこから芋づる式に広がっていく場合も少なくないので、自分で企画してみるのもよい。

現地人の使うフランス語は普段日本で聞いているどんなフランス語よりも早く感じるし、実際早い。出国前から耳を鳴らし、日常的に用いられる単語や表現を覚えていくのがベストだが、それでも最初の数ヶ月は戸惑うだろう。それでも臆さずに会話を試みて欲しい。自分は留学生だと言えば気を遣って話してくれる人もいる。勿論そうでない人もいるが、*Parlez moins vite, s'il vous plaît.* と言えば、ほとんどの人はゆっくり話してくれる。フランス、特にパリは表現の国なので、外国人であろうが若造だろうが、自分の考えを伝えることができれば、認めもらえるので、頑張って挑戦すれば、留学生活が必ず豊かなものになるだろう。

最後に、フランスは日本同様、四季を大切にしている国の1つである。市場に並ぶ食材や花々で、レストランで、移ろう街の風景で、そしてフランス各地で行われるお祭りで、ぜひ季節を感じて欲しい。